

2017/3/3

(日々雑感 41)



ガス代の払い込みを済ませ、歩いていると突然電話がかかってきました。

昨日の住民相談係のおまわりさんからでした。

用件は「電話で定期的にフォローします。いざというときの連絡窓口にも自分になります」と言うことでした。

向こうで何があったのかは知るよしもありますが、この変化は非常に有り難いものでした。

何となく「人情派刑事」という藤田まことの刑事姿を思い浮かべたほどです。

とにかく繋がっているのといないのでは心理的に全く違います。糸の切れた凧なのか、繋がっている凧なのか、です。

正直申し上げますと、自分の心臓の鼓動音で目が覚めるような毎日。睡眠時無呼吸症候群軽減酸素マスクを取りに帰れないために、時々息が詰まって過呼吸状態になり、胸が痛くなったりもしていました。

こんな状態が続くと、いつしか人間はだんだんがっていき、思考が凶暴化していきます。そうして、知らぬ間に皆さんと気持ちが離れ、やけくその思いから被害者予備軍が加害者当人になってしまう可能性が高いような気がします。

それを防ぐには、やはり普通のひとと成る丈話をする事です。内容も普通の話題に限って。

まあ、普通の人ではありませんが、警備会社のひととも連絡を取り合っています。警備警護のためではありません。情報を共有するためです。あとちょっとした無駄話。

事件化する前は、なんかこういう「ぼんやりとした」お互いに負担にならない、過度に期待しすぎない繋がりが良いのかもしれないと思います。

これこそが、自衛のためのネットワークではないかな？と。それがいざというときに「セーフティーネット」として働く。まあ、可能性ですが。

とにかく妙にとがらないことを意識しております。「丸くなる」ことを意識しております。難しいですけど。